

# 第1回 豊浦町バイオガス事業実施検討委員会 議事概要

## 1. 日時

平成28年12月19日(月)15時00分～17時00分(豊浦町役場3階第1会議室)

## 2. 出席者

[委員] 奥澤委員 勝木委員 山田委員 菊地委員 堀部委員 高田委員 平野委員  
藤川委員 阿部委員 岩渕委員 (10名)

[役場] 村井町長 小川副町長 藤原地方創生推進室長 瀬野農政振興課長  
清水地方創生推進係長 相畑地方創生推進係事務補 (6名)

## 3. 主な発言内容

- どの程度の臭気が発生するか不明だが、プラントには脱臭装置をつけるべき。
- 安定的な醗酵反応、ガス回収の確保は可能か。
- 水産残渣が原料として利用されることから消化液中の塩分濃度が懸念される。
- サイレージを原料とし投入すればガス発生量が増加する可能性があるのではないか。
- 日処理量 150 トンのバイオガスプラントから発生する消化液を散布できる農耕地を町内で確保できるのか確認すべきである。
- 各農家から排出される規格不適合野菜等(未出荷品)についてもバイオガスプラントの原料としてはどうか。
- 畜産の場合は敷料として糞や麦稈(ばっかん)を使用しており、野菜に限らず醗酵槽に投入する場合は破碎処理を行う必要がある。
- 豊浦町内では消化液を利用した栽培方法は一般的ではないため施肥量や施肥方法について知らない人が多く、また消化液の活用について具体的イメージを持ちにくいいため、消化液の需要拡大のためには農家に対し情報を提供していく必要があるのではないか。